

令和2年6月29日

報道機関 各位

北陸初！心房細動患者の脳梗塞を予防するカテーテル治療に成功

富山大学附属病院 循環器センター（センター長：絹川弘一郎）は、心房細動患者の脳梗塞を予防するカテーテル治療を2020年6月25日に北陸で初めて実施しました。

心房細動患者では左心房の飛び出した部分（左心耳）に血栓を生じやすく、この血栓が脳の血管をつめることで脳梗塞を発症します。通常は内服薬による抗凝固療法を行い、左心耳内に血栓を生じにくくしますが、その反面消化管出血や脳出血などの合併症のため内服を継続出来ない患者がいます。当該患者においても消化管出血・杖歩行のため転倒歴があり、抗凝固療法の継続は困難と判断し、脚の付け根の静脈からカテーテルを挿入して経皮的左心耳閉鎖術を施行しました。

心房細動は加齢に伴い増えてくる不整脈のため、今後患者数が益々増加することが予想されます。様々な理由により抗凝固療法を継続出来ない患者に対しても、今後脳梗塞の発症を予防することが可能になります。

富山大学附属病院では、今後も皆様に最先端の医療を提供して参りたいと考えております。

記

1. 実施日：2020年6月25日（木）
2. 実施場所：富山大学附属病院 ハイブリッド手術室
3. 術式名：経皮的左心耳閉鎖術
4. 執刀医：上野博志 講師、片岡直也 助教、福田信之 助教ら
循環器センターを中心とした低侵襲治療部門チーム
5. 患者：80歳代 男性

【本件に関する問い合わせ先】
富山大学附属病院 第二内科 上野博志
TEL. 076-434-7297